

長崎倶楽部

No.44

2013.1.30

長崎県人クラブ事務局 〒160-0004 新宿区四谷1-10-2-412 tel:03(5366)4888 http://www.k2.dion.ne.jp/~nkenjin/ 発行人/山内 賢明

目次

● 巻頭インタビュー 35 / 吉田牧男	1	● ESSAY	12
● 講演会	6	● TOPICS	13
● 新刊紹介・話題の一冊	9	● お悔やみ・新人会員自己紹介	20
● ひと	10	● うまかもん	21
● 会員会社訪問	11	● HOT NEWS	24

題字：吉田 佳広

巻頭インタビュー

35

私と長崎

吉田牧男

東部重工
株式会
社代表
取締役
社長

会社創業50周年を『第3の創業』と位置づけ
クラブ・バケット專業メーカーの強み発揮



原材料などの積み降ろしに使う
港湾・船舶用「クラブ・バケット」
の世界的專業メーカー、東部重工
業は2013年に創業50周年を迎
えます。そこで吉田牧男社長に経
営理念や人生訓などをさくくばら
んに語ってもらいました。

(聞き手…県人クラブ常務理事 牧山康敏、
写真…同理事宅 島正二(12月19日取材))

東部重工業さんは2013年
の今年、創業50周年だそうでおめ
でとうございます。感慨も一入か
と思います。

吉田社長 昭和38年(1963
年)の創業ですが、当初は東京・
亀戸で始めました。40年に江戸川
区に工場敷地を買って本格稼働
し、社名も東部重工業に商号変更
しました。私は39年からこの会社
にかかわっていますが、当時は会
社も労働組合が強く経営もうまく
いっていませんでしたので、これを5
社に分け、その一つを私達はクレ
インメーカーとしてスタートした
わけです。2社は組合主導だった
ので間もなく潰れましたね。3社
を残しましたが、会社経営はそれ
ほど簡単なものではないと言いま
す。私どもも昭和40年代には
数度にわたり景気変動による山と
谷を体験しました。

その時代、陸上部門のクレーン
は熾烈な叩きあいによる競争を繰
り返していました。そこで原材料
や穀物などの揚げ降ろしに使うグ

会社経営というのはそんなに簡単なものではありません。
当社は広く船用と海外に進出し活路を見出しました。



ラブ・バケットを主体とするこ
とにしたわけです。さらに昭和
40年に船舶用に進出し、クレ
ーンと港湾荷役、船舶用グラブに
特化しました。

海外にも早くから注目され
たそうですが、何が転機だった
のですか。

吉田 海外進出は昭和40年頃か
ら始めましたが、特に昭和48年
のオイル・ショックでは、給料
が年間で3〜4割上がったいた
時代です。それならメーカーが
直接海外に出て行って商談し、
スペックなどを決めることにし
よう、と。受注を目指して海外
を飛び回る機会が増えました
が、1年の3分の1は海外に出
かけ、1週間にロンドンを2往
復したこともありますよ。若か
ったから可能でしたね。海外に
知り合いが出来るとその人から
良い情報が入る。海外から得た

情報を商社や船会社に伝えてい
ましたが、こうした情報やニー
ズは誰も察知できないのです。

いま本社工場は千葉県・浦
安市にあります。浦安に進出
した時期はいつですか。

吉田 浦安に来たのが昭和52年
です。土地は三菱商事から購入
しましたが、資金がないので手
形にしてもらいました。浦安に
来てから年が明けて36年にな
ります。私は技術集団として技
術のノウハウを磨き、効率化を
進めてきました。効率が良いな
いものは外に出すようにし、と
にかく技術力、効率化、コスト
削減を徹底して世界に例を見な
い唯一の専門メーカーにしたの
です。そして15年前には本社工
場も建て替え、2008年には
まず佐世保工場と浦安新工場が
完成し、武雄（佐賀県）、船橋
と合わせて5工場体制です。

◆◆ 技術力でノウハウ築き 世界的専門メーカーに

東部重工業さんの取り扱い
製品について説明してくれませ
んか。

吉田 当社は世界を往来する船
舶や資源開発、原材料出入スト
ックヤード、港湾、工場などで
広く使われる「グラブ・バケッ
ト」の専門メーカーです。荷物
をつかんで積み降ろしするので
「つかみ」専門メーカーといえ
るわけで、この分野では世界で
唯一の専門メーカーです。需要
はそれほど大きくなく大企業は
手をつけない。かといって零細
企業では人材や技術力が伴わな
いという問題があります。かつ
ては同業者もいましたが20数年
前に国内も海外も全て撤退して
います。いわば隙間「ニッチ産

業」でもあるわけです。マイナ
ー産業とはいえ供給体制やコス
ト面を考えると誰でも簡単に進
出できるものではないのです。
製品も大型のバケットは50トン
もあります。

浦安のほか佐世保、武雄市
にも工場を持っているわけでは
ね。

吉田 武雄工場は古く、進出は
30年も前になります。佐世保工
場は2008年に完成しまし
た。これで生産体制は東日本の
浦安工場と西日本の佐世保、武
雄工場の2極体制が出来上がっ
たことになりました。特に九州は
造船所や鉄鋼業が多く立地し、
下請けも鍛えられており、優秀
な人材が多いですね。しかも他
の地域に比べて協力的です。物
流技術もかなり進んでいます。

我々の会社は効率化やコストダ
ウンが大事です。極端に言えば
全部九州地区で生産して関東に
持つてきても引き合うぐらいで
すよ。ただ、それは関東地区の
空洞化になるので出来ません
が。納入先はほとんどが海外で
す。

◆◆ 海外では東南アジア 振興国市場が有望

新たに国内で工場を建設す
る計画は。併せて海外戦略はど

うですか。

吉田 国内での新規計画はあり
ません。海外ですが、当社も40
年前に台湾で生産してしました
が、人件費が上がリ、人材確保
が難しくなりました。加えて外
貨事情などもあつて20数年前に
中止しました。今後はやはり中
国がインフラ需要も高いし消費
も伸びるでしょう。ただ政治体
制が違うこともあり今のところ
具体的計画はありません。東
南アジアではタイ、ベトナム、
インドネシア、カンボジアそれ
にインドなど新興経済発展の国
が期待できます。これらの地域
は現在よく調査しており、需要
掘り起しに役立てたいと思つて
います。

◆◆ 高付加価値製品に特化 人・モノ・カネ・情報重視

創業50周年を「第3の創業」
と位置づけていますか。

吉田 要は付加価値を高めて高
付加価値化経営を目指すという
ことです。前にもお話し致しま
したが付加価値の高いものは自
社で作リ、付加価値の低いもの
は外に出して作ってもらうこと
です。そのためには人材の補
強・育成、インフラ動向の掌
握、つまり人、モノ、カネ、情
報収集に加えて経営のスピード

化が必要です。それによって経営の座標軸を変えていくということです。機種を選別してニーズに合わせたコスト、つまり売値に合わせたコストにして原価を割り出す事が大事です。そのためには連鎖生産を越えてスクランブル生産方式（O・N・P）にして高付加価値製品を重点的に生産していくことにしています。私どもは昭和40年に船用バケットに進出しましたが、回転率の速い製品、一番難しいものから手をつけました。それには教科書はありません。我々が作っていくうちにノウハウが蓄積されていきます。現在では20億〜30億円の商談でもメールでやり取りするIT時代です。こうした時代の変化にも素早く対応できるようにIT機器方式を採用していきたくと考えています。

——東部重工業さんは製品を全世界に供給しているわけですね。

吉田 消費地、生産地、原材料供給地などいずれも条件が違います。私どもの製品は世界中どこへ行っても動いています。イランイラク戦争のときでも私どもの製品が戦況を伝えるテレビ映像にも映し出されたほどです。

◆ ◆ ◆ 経営理念は人との出会いを大切にすること

——ここで吉田社長の経営理念を教えてください。

吉田 人との出会いを大切にすることです。皆が人の世話になります。何事も人に始まり人で終わる。人は互いに支え合って生きています。「人」という字を見ればよく分かります。支えられているほうが小さい。これは会社経営に限ったことではなく、一般社会でも同じです。出会いの縁を深めていくことで何でも出来るようになる。出会いを大事にすればそれがひいては自分にも返ってくるものです。

◆ ◆ ◆ 長崎県下の高校で講演 実社会への心得を説く

——吉田社長はふるさと長崎県下の高校を回ってよく講演されているとか。

吉田 これは長崎県の「人生の達人セミナー」と称して教育長から依頼されて10年ほど前から私の母校や県下の高校を回って講演しています。年に2〜3校、既に30校近くを回りました。私達が高校時代、当時県知事だった西岡竹次郎さんがよく高校を回って講演されていまし

たね。あれに似たようなものです。そこで私が強調していることは社会に出てから役立つような心に残る言葉、産業人として役立つようなことを話しています。具体的には、いい人に出会うためには自分でも努力すること、自分自身の考えを持ち、ベイスになる考える力、つまり「地頭力」を養うことの大切さ、会話には即興的なインプロビゼーションと、理論的なロジカルシンキングがありすが、どちらも大切だと考えています。

——これまでは仕事・経営の視点から話を伺いましたが、これからはプライベートについて伺います。お生まれは北満州だそうですね。

吉田 北満州の遼陽というところで昭和13年の生まれです。父は医者で宣教師だったので、私もあちこち付いて回りました。戦前は大学の講師もしていました。私の名前の「牧男」は牧師の牧から取ったもので、私もクリスチャンです。母は天草出身で学校の教師でした。日本人離れしたところがあり、背は高くありませんが、彫が深く面長で帽子の良く似合う人でした。スペイン系です。

でも3年になると私も勉強に力を入れましたが、授業内容が分かってくると興味も出てくるものです。小学校の同窓会には何十年も出ていなかったのですが、50年ぶりに出席すると皆に「本当に小学校時代の吉田か」とからかわれたものです。また80歳過ぎの小学校の恩師から吉田牧男君に会いたいものだと言われ、病院に見舞いに行つて久しぶりの再会を懐かしく感じたことでした。

——中学・高校時代はどうでした。

吉田 中学校は山澄中学でバスケットに夢中でした。佐世保南高校時代はアルバイトで忙しかったのですが、自分から志願して生徒会の「図書委員長」にな



私は北満の遼陽生まれ、父は医者で宣教師。

母は教師で気丈な人でした。小学校では私の代りに授業に出たことも…。

り、読みたい本を自分で探してきて、読みふけったりしたものです。

—— 大学は東京ですね。

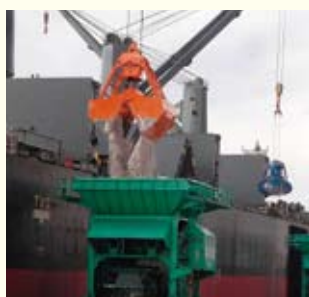
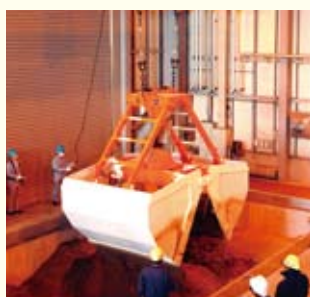
吉田 父の関係もあって青山学院大学に入りました。ここでもアルバイトに追われていたのですが、2年の時に車の免許を取

って家庭教師の運転手や幼稚園の送迎バスの運転手などをやって結構稼ぎましたね。このほか百貨店の運送関係のバイトもありました。この時期に今の妻と出会いました。

—— 東部重工に入社されたきっかけはなんですか。大学卒と同



世界で活躍する東部重工業の〈製品〉



時の入社ですか。

吉田 3年間は商社勤めを経験しています。輸入の担当でしたがこれが面白くない。経理も手伝いましたが、余り気乗りしませんでした。ある時、知人から「東部重工」に行かないかと紹介され、昭和39年に東部重工に移りました。前にも触れましたが東部重工の前身の会社では労働組合が強く、いろいろ問題がありました。それで新生東部重工として新たに発足したわけです。

ト計算などもすぐに出来るようになりましたね。お陰で即断即決の訓練にもなったように思っています。

◆◆◆ 人は互いに支え合うもの ウィンウィンの関係を

——社長歴は関連会社も含めると優に20年を越えるわけですね。酸いも甘いも多くの経験を積まれてきたわけでしょうが、吉田さんの人生訓を教えてください。

吉田 1996年です。それ以前の80年代には海外の関連会社社長も兼ねていました。入社当時は先輩にいろんなことを学びましたね。私は若い時から常に計算尺とソロバンを持ち歩いていたので、これを利用してコス

吉田 人は互いに支え合っていないと生きていけません。人様から戴くもの、得るものの方が大きいのです。自分一人では何も出来ません。如何に周りの人とウィンウィン（お互いが利益を分かち）の関係を築いていくかです。言葉を変えれば「共存共生」が大切と言うことで

す。与えれば自分にも戻ってくるものです。お互いが暗黙のうちに得る「暗黙智」と言う言葉を大切にしたいですね。

——東部重工さんはふるさと佐世保にも工場進出し、雇用など地域に貢献されています。長崎県政や佐世保市政に対して注文とか、要望などを。

吉田 お互いに協力していくことが重要で、時には根回しも必要になってきます。そうすれば理解しあえる。面と向かってフエスツーフエスでの話し合いも必要です。その場合、行政側も先輩や後輩の力を借りていくことも欠かせないでしょう。お互いの和が大切で、和の大連鎖を強調したいですね。

——ふるさとの若者への期待や注文、アドバイスを願っています。

吉田 我々もこの東京で頑張っ

てきました。私が言いたいの

は、何事も堂々と自信を持つてやりぬくこと。繰り返しになりますが、自分だけでは何も出来ない。人から引つ張ってもら

う。そのためには周りの先輩や知り合いの方を大事にするこ

と。これは年代ごとに順送りになるわけです。このことを忘れないでもらいたいですね。

——趣味のほうはどうですか。

吉田 趣味と言っても実際はなかなか難しいですね。私の場合、自分の記憶力を維持する意味もあって「記憶の記録」を心

がけています。日記のような「日報」を毎日手帳に書くようにしています。振り返ってみると仕事のことや身体の異常など良く分かります。記憶力の維持には役立っていますね。これは何十年も続けています。また、最近

が、時間があれば切手の収集もやっています。親父がよくやっていたんですが古いものも多くあります。大事なものは金庫にしまっていますよ。子ども達が生まれてからカメラやビデオもよく活用しています。子供や孫の成長などが記録出来て楽しい

のです。親父が記録することが大好きな人でした。汽車や電車の待ち時間など寸暇を惜しんでホームなどで立ったまま「ハガキ」などを何枚もさらさらっと書いて投函していましたね。私もその血を少し引き継いでいるのかもしれない。

——去年は結婚50周年だったそうですね。

吉田 会社より1年早く結婚50周年の金婚式を迎えたわけ

です。——長時間、どうも有り難うございました。



自分の記憶力を維持する意味もあって何十年も前から

「記憶の記録」を心がけています。記憶力の維持にはいいですね。

◆東部重工(株) 社長 吉田 牧男(よしだ まさお)

昭和13年 満州遼陽生まれ。
昭和21年 満州より引揚げ、佐世保市立潮見小学校に編入。
昭和29年 山澄中学校卒業。
昭和32年 佐世保南高卒業。
昭和36年 青山学院大卒業。
昭和39年 東部重工(株)入社。
昭和40年 東部重工(株)設立参加。
昭和48年 東部重工(株)台湾合併企業総経理常務董事就任。
昭和57年 東部重工(株)取締役就任。
平成8年 東部重工(株)代表取締役就任。現在に至る。

講演会

「病気は自分で治せる」

講師 波多野 勝彦氏

『講演日：平成24年10月25日』

大変な病気と思われる場合でも、案外単純な原因で起こっていることが多いので、逆に考えますと単純な方法で治すことも可能です。僕自身の体でもいろいろと試してきたので自信を持っていえます。そこで、自分で行う病気の改善や健康づくりについて考えてみます。

付いたことは、常識とは必ずしも真実ではなく、誤った先入観によるものも結構あるということです。そして、現在の医学や栄養学はそんな傾向がほかの分野に比べてはるかに多いということを発見しました。ですから、医療の勉強においても常識に囚われないように努めました。

僕は長年、映画づくりの仕事に携わってきました。1997年5月、たまたま僕の脚本・監督作品が国際短編記録映画祭で上映された折、僕が若手の作家であると紹介されました。既に還暦を過ぎていましたが、両隣の外国人作家は僕よりも年輩だったので若手といえましょう。そこで、この先何十年も映画を作り続けるには体こそが資本だという当然の発想に立脚し、健康づくりの勉強を行っているうちに、中国の伝統医学、つまり中医学に魅了され、北京中医药大学日本校に入学して中医学を本格的に学びました。僕は映画製作という仕事柄、何事も徹底的に取材して調べる習慣が身に付いていまして、そんなことで気

さて、ホメオスターシスという医学用語がありますが、この言葉の意味を把握すれば、病気の改善や健康維持はそれほど難しいことではないと思われるはずです。ホメオスターシスは、一般には、恒常性と訳されていますが、漠然としてよくわかりません。復元力、つまり体を正常にしようという生命維持機構とでもいいますか、生物に本来備わっている機能です。では、自然治癒力のことかと思われるかもしれませんが、ちよつと違います。確かに自然作用ですが、自然治癒力よりも奥が深いのです。自然治癒力もホメオスターシスのシステムの中に含まれますので、ホメオスターシスの機能が高まれば、当然自然治癒力や免疫力も向

上します。

ホメオスターシス(Homeostasis)の語源はギリシャ語で、Homeoというのは「似ている」という意味で、stasisは「状態」とだとされていますので、常にあつちに行ったりこつちに來たり揺れてはいますが、似た状態、つまり、釣合いがとれていて、一方に偏らず平衡を保っています。そのように、常に揺れ動いているわけですから、病気を起こすのもホメオスターシスのシステムの一つです。

自然界に目を向けても、晴天ばかりではなく、大雨や強風の日もあります。必ず元に戻ります。天候不良のときもありますから、農作物も実るし、豊漁にも恵まれるのです。人間も同じです。常に傾いたり揺れ動いたりしていて、いつも一定ではない。ときには病むこともありますから健康が保たれています。ですから、病気を起こしても、それほど心配する必要はありません。

僕は、残念ながら今の医療現場では、ホメオスターシスという素晴らしい医学用語の意味は、全く活かされていないと思います。そうでなければ、これほどまでに薬が垂れ流され、これほど多くの難病・奇病が満ち溢れているはずはありません。

今の一般の病気治療は、体を元

どおりに改善させるのではなく、ただ単に症状を押さえこんだだけで治ったとする傾向にあります。本体である根を無視して表に現れた枝や葉をいじくりまわしているにすぎません。いわゆる根本療法ではなく、対症療法です。対症療法はホメオスターシスのシステムに逆らい、出てきた反応を麻痺させているだけなので、生命力を低下させます。

病気とはバランスが崩れているというメッセージです。そして、症状は、体が修復に向かっている状態です。人間を含む動物は、生きていく上で必然的に毒素が蓄積されます。そこで、症状という自然の力が働いて、たまつた毒素を排泄しようとしているのです。したがって、症状には感謝しなければいけません。医療関係者の中には、そのありがたい症状を、叩くとかやつつけるといわれる方が多いのです。そんな発想では病気は改善できません。病気を治すには症状をうまく通過させなければならぬのです。

現在、行われている医療では、症状さえ消えれば病気は治つたと思しますが、毒を出して、初めて病気が治つたということです。どんな病気も、いきなり深い部分を襲うことはありません。その前に必ず軽いところ、つまり手前で代行してくれま

す。警告と同時に、軽



い病気が重い病気を予防してくれるように、動物の体は作られているのです。軽い病気の内に反応を麻痺させる対症療法などをせず、速やかに通り過ぎていただく、ホメオスターシスのシステムが働いて、すつきりと回復するというわけです。そして発病以前よりも丈夫な体になります。

病気を通過させる最も簡単な方法は、薬や注射などに頼らず、体を温め、そして食事を絶つことです。全ての病気は発病するときは、ほとんどの場合、体が冷えていて、熱を欲します。そこで熱を補い、そして食を断ち、消化吸収を休ませることによって、消化酵素をも代謝酵素のほうに回ってもらい、体の修復作業を強化させることです。

さて、医療が発達したといわれながら、なぜ病人が増え続けている



るのでしょいか。それは正しい医療が行われていないからです。今の医療の最大の問題点は、どうして病気になるのかという、その原因を究明する「病因学」がないことにあります。根源の哲学がありません。結果だけを見て病気を改善しようとしています。「原因療法」ではなく、「結果医学」です。これでは病気からは逃れられません。表面に現れているところだけに夢中になって、根元を見ようとしていないのです。ですから、原因をそのままにしておいて結果だけを封じようとするので、医療機関にかかればかかるほど、逆に健康を損ない、医療が原因のいわゆる「医原病」が起きます。

「医原病」だけではなく「医」よりはるかに重要な「食」、つまり食べ物による「食原病」も氾濫し

ています。

精神面も含め、今のほとんどの病気は、不自然な食生活や医療を始めとする社会環境などによる科学文明病であるといえます。健康が損なわれたということは、科学文明などが原因で、血液に問題が生じたからです。ここでのいう血液とは中医学でいう「瘀血（おけつ）」、つまり血液の汚れや滞りのことです。

近代西洋医学では瘀血の存在を認めていないようですが、中医学では古くから言われています。「万病一元、体調不良は全て瘀血が原因である」と。その瘀血を改善すると健康が取り戻されるということです。

病気は本来、すべて全身病で、たまたまある部分に現れているにすぎません。現れる主な症状は「発疹」、「炎症」、「動脈硬化・血栓・出血・結石」、「腫瘍」などです。これらは、いずれも血液が汚れているので何とかして欲しいとの警告であり、同時に血液を浄化し、体を修復しようとしている治癒反応です。病気はいきなり深い部分を襲うのではなく、必ず手前の軽いところで代行してくれましたが、手前の軽い段階でうまく通過させると大病に至らなくて済みますが、押さえ込むことを繰り返していると大変なことになってしまうのです。

ここで、病気が進行していく流れの例を見てみましょう。

血液が汚れてきたので、発疹で排出しようとするそれを葉などで押さえこむと発熱で燃やそうとします。更に押さえると出血で瘀血を排除しようとしします。更に押さえ込んでしまうといよいよ最後の護りとして癌を作ってしまうのです。癌は敵視されていますが、味方とみなすべきです。その証拠に誰も一日に何千個もの癌ができては消えています。癌は血液の汚れを処理するためにできていて、使命を果たすと去ってくれると考えべきです。

ところが、血液の汚れがひどく、瘀血が続くと癌様は困って去ることができず、大きくなっていかざるを得ません。そこで、いかなる病気も浄血をして体質改善を図ることが必要なのです。そして、血液を浄化するには科学物質などの毒を断つて、自然のものを摂り入れることです。つまり、科学文明がはびこる以前の食生活などを見習えばよいのです。

日本におかしな病気が浸透し始めたのは江戸時代あたりからです。その前には、今問題になっている生活習慣病などはほとんどみられません。大航海時代、日本にやって来たポルトガルやスペインの宣教師たちが書き残しています。「日本人は、これこれ、こんな物を食べてこんな生活をしてい

るが、非常に強靱で長寿だ」と。ところで僕は子供の頃から体が弱く、中年以降はあちこちにガタがきました。そこで科学文明に汚染されていない天然の生物を食べようと、食事の大改革を行って、体の大改革を図ることにしました。

主食は玄米、副食は日本伝来の発酵食品が中心です。この食べ物の切り替えて瘀血体質の改善を図り、高血圧症、前立腺肥大、痔疾、歯周病をことごとく克服しました。

健康維持や病気の快復に関して「食」がいかに重要であるかということは、西洋医学の父であるヒポクラテスも提唱しています。彼は「食べ物で治せない病気は医師にも治せない」とさえ言っています。

食事で体質改善を図ることにより、病状ばかりでなく、今、心配されている放射能汚染などからも身を守ることもできます。1945年8月9日長崎に原爆が投下され、被害は想像を絶するものでした。その中で、多くの人たちを原爆症から救ったのは浦上病院の内科医長だった秋月辰一郎博士です。彼が普段から実践・指導していた食事療法により救われたのです。玄米とみそ汁は欠かさなかったそうです。

原爆投下時、爆心地から1・4キロの地点であったにもかかわら

ず、病院スタッフ・入院患者併せて100名ほど全員が被害を免れました。

食生活がいかに大切かということが実証されています。今、福島原発事故にさらされている僕たちにも大きなヒントが含まれていると思います。

以前、アメリカ上院は、あまりにも病人が増え続けているので、その原因を解明するため、マクガバン上院議員を委員長とする大プロジェクトを組みました。良心的な医学者や栄養学者を総動員して、二年がかりで世界中の食と健康に関する調査を行い、病人の増える原因を突き止めました。その結果、多くの病気は、肉、白砂糖などの不健康な食事の内容が原因であることを、初めて公式の場で指摘しました。薬や注射を主体とする現代の医学を批判し、「食」を重視する医学改革が急務と説きました。そして、何と世界全人類の理想の食事は日本の元禄以前までの伝統食だと結論づけました。

従来の医学や栄養学の考え方を大転換させたこのレポートは世界中に大きな衝撃を与えました。ところが、この医学改革は、その後、膨らみをみせず、むしろ、しばらくでしまいました。超巨大産業である食品業界や医療業界につぶされたのでしよう。

ここで、断食の効用について簡



な病気が改善されていくさまを目のあたりにしました。むろん、全てではありませんが、改善の確率はかなり高かったです。この体験以来、僕はすっかり断食にやみつきになりました。

千島喜久男学説によると、食べた物が血液となり、それが体細胞となり、更に肉となり、骨となるのに対して、血となる食べ物が入って来なくなると、逆の作用が起こるということです。つまり、筋肉やホルモンなどが血液に戻るということです。体に必要としないものから先に戻っていくようです。

例えば、皮下脂肪のようなものは患部などです。したがって、断食を行うことにより、それらの細胞が血液に戻り、それが排泄されることによって血液の浄化作用を起こします。断食を行うとこのようにして病気が改善され、健康が保たれるわけです。

つまり、前に言いました、消化吸収を休ませ、消化酵素をも代謝酵素に回し、体の修復作業を強化させるということに通じるのです。ともあれ、氾濫する誤った情報に惑わされず、正しい認識さえあれば、仮に病気がかかったとしても速やかに通過していただき、その都度、更なる健康が築き上げられていくのです。いたって簡単なことです。

現代人はある意味で科学文明という檻の中に閉じ込められているようなものです。世間の誤った情報に知らず知らずのうちに洗脳されて、それを常識だと錯覚していることが多いのです。そんな常識でもない常識など払拭して、本物の正しい認識を持つていただくことによって、より一層の幸福を獲得くださいますよう切望いたします。

◆プロフィール 波多野 勝彦氏

1936年(昭和11年) 生まれ。
 1959年(昭和34年) 日本大学芸術学部卒業。
 1962年(昭和37年) 日本大学大学院芸術学研究科修士課程終了。
 1967年(昭和42年) 映画製作プロダクション設立。
 300本余りの監督作品のうち、2006本の作品が東京国立近代美術館フィルムセンターに永久保存。
 国立北京中医药大学日本校 中医薬専攻科卒業。

・日本ホリスティック医学協会 会員
 ・日本記録映画作家協会 会員
 ・日本アカデミー賞協会 会員
 ・著書「病氣は自ら治す防ぐ」
 発売元…(株)マガジンランド

www.guenbs.com



新刊紹介

長崎新聞社刊

「長崎・聖福禅寺の普茶料理」

聖福寺住職・田谷昌弘、万寿山聖福寺大雄宝殿修復協力会共著
B5判・123ページ・オールカラー・定価2000円＋税



万寿山聖福寺（長崎市玉園町）は長崎の僧・鉄心道胖が延宝5年（1677）に建立した黄檗寺院。さまざまな小説を映画化した「解夏」の舞台ともなつて一躍知られるようになった。建立した鉄心は、黄檗宗の開祖・隠元禅師の孫弟子で木庵の弟子にあたる。長崎・西村家（松

月院）と中国福建省の渡来商人・陳朴純との間に生まれた混血の僧で、長崎の太工らが手掛けた聖福寺は和風の中にも黄檗天井など中国洋式が施され、これも「混血の寺院」の趣がある。大雄宝殿は長崎県有形文化財に指定されている。普茶料理は隠元禅師が長崎に渡来、京都・宇治に黄檗山萬福寺を開山した際に伝えた中国風の精進料理。ボリュームがあり栄養価が高いことから、このごろは一般でも好まれるようになった。

「普茶」とは「普く大衆に茶を施す」の意で、この精神に則つて食材や作った人に感謝し、残さず食べるのがしきたり。一つの卓を囲み大皿の料理をめいめい取り分け、和気あいのうちに食す。

「四季の普茶料理七十七品」の項に美しいカラー写真で料理を紹介。そら豆の蘭造り、松の実揚げ、筍煮含め、よもぎ麴の揚げ煮、菜の花の酢味噌和え、ずいきの胡麻和え、筍ご飯、桜飯、さつまいも粥、唐揚げ、飛龍頭などなど。遊び心の「もどき料理」もあつて楽しい。だが、あくまでも禅門の食事であり、調理から食事まで禅の精神のしきたりが貫かれている。

本書は、老朽化が進む同寺院の平成の大修理、特に痛みが激しい大雄宝殿の修復を願う市民が資金を募る目的で出版した。書家・出口恵山さんをはじめ、宮川雅一さん、陳東華さんら文化人が中心となり修復協力会を運営、その呼び掛けに多くの市民が賛同している。

（長崎新聞出版室）

長崎新聞社刊

「拓かれた五島史」

尾崎朝二著
A5判・上装版・486頁・定価2000円＋税



著者はある日、五島ゆかりの友人たちと古里談義を楽しんだ。誰ともなく「五島全体の歴史は知らんなあ」と声が上がった。そういえば、五島列島史は各町の「町史」としては存在するが、本格的な「五島全史」にお目にかかったことはない。

歴史好きの著者は早速、構想を立て資料集め、帰郷の折に各地を歩き、資料を漁った。健筆家である。パソコンに向かっての執筆は島の各町史の細い流れを、太い「大河」に合流させる作業。丸5年、400字詰め原稿用紙500枚を優に超える大作が仕上がった。

「拓かれ」としたのは、日本史の中にしっかりと位置付けた五島史だから。「新しい史観」また「新しい視点」としたのは権力者の正史に則るのではなく、被支配の「消された史実」をすくい上げる立場に立つて書き上げたから。

五島の始祖は「平家盛が宇久島に逃れて宇久家を創始したのが始まり」とされ、島の各地に平家塚もある。だが、それに「否」ととなえ、

松浦氏こそ始祖であるとした全史である。その証明は正史から消された松浦の歴史にかかわる「断簡資料」が与えてくれた。

松浦一族による五島支配の経過は、第3章「鎌倉時代の五島」に詳述。その第1・2節で松浦一族の五島侵攻に触れ、第3節で宇久氏の創始、第4節で宇久氏の勢力拡大ぶりを記述している。遠大な想像力を基に資料を駆使し、結論を導く。オリジナルの「新選 宇久家（五島家系譜）」など、著者の努力が説得力ある新説を生んだ。

第8章は本書の最終章を飾るにふさわしい企画「故郷五島に光りを与えた明治の人物伝」。平成時代の人々に少しでも参考になれば幸い。との著者の郷土愛の賜物。さらに遺跡紹介や、維新当時の富江藩士族名など資料編も貴重である。

著者は1936年4月生まれ。五島高校卒。（株）山善取締役などを務めた。著書に「芭蕉の更級紀行をゆく」（出島文庫）「五島列島をゆく」（海鳥社）など。

（長崎新聞出版室）

話題の一冊

「とっておきながさき」

定価（税込）：980円（税込）

発行 KTNテレビ長崎

ながさきプレス

内容 ・あの人のオススメ！長崎のいいところ（著名人のコメント）
・長崎県の21市町をご紹介（観光地・特産品・文化・地域産業・イベント）
・スイーツランキング、直売所情報



ひと

株式会社テレビ朝日「やじうまテレビ!」ディレクター 永田裕美子さん



平成24年11月1日(木)午前11時、四谷の県人クラブ事務所でお話を伺った。

現在のお仕事は、テレビ朝日の月曜日から金曜日まで、午前4時55分から8時まで放映される朝の情報番組「やじうまテレビ!」のディレクターである。

高校は島原商で、福岡の短大を卒業したあと、福岡のRKB毎日放送で6年間リポーターを

務めた。平成11年

(1999)年、突如思いつきでスツケース一つ持ってニューヨークに飛び、結局そのまま5年間過ごした。現地ではフリーのリポーターやディレクターとして活動。日本のマスコミ相手に番組リサーチ、コラムニストの仕事などこなした。特に「9・11」のときは多忙を極め、報道番組のリポーターや現地コーディネーターなどで市内を走り回った。

その後、東京で

IT系の会社で5年間マーケティングの仕事に携わり、平成21(2009)年島原に帰郷。

地元のケーブルテレビやFMラジオでパーソナリティをする以外にも、市内で開催される不知火祭りや産業祭りなどの企画や司会、私立高校の非常勤英語講師や食育講座講師なども務めた。そんな折、ニューヨーク時代の同僚から「やじうまテレビ!」への誘いがあり、

現在に至っている。

永田さんは、インタビューの際、次のことを強調された。「島原半島には、お城、島原の乱やキシタンなどの歴史、温泉、名水、雲仙という国立公園を含む「世界ジオパーク」という他県にはない最高の切り札があるにもかかわらず、なかなかそれを有効利用できていないように思う。長崎にも出島や原爆記念館など、世界に誇れる遺産がたくさんある。長崎県には他県にPRできる素材は十分過ぎるほどあるので、関東方面にいる長崎OBの方々とうまく連携を取り、いろんなツールを駆使し、周りを巻き込む行動が必要だ」という。

現在、念願だった「ギョー局で働くこと」という夢が実現した今、次は田舎のために何かできるのではないかと考えているとのこと。この秋、一念発起して中央大学法学部(通信)に入学。次のステップに向けて力を蓄えているところだと意気込んでいた。(聞き手:宅島正二理事・平松勲理事、写真:宅島正二理事、文:内堀勝之理事)



水とともに輝く



三輝工業株式会社

代表取締役 木戸紀雄

(長崎市出身)

URL <http://www.sanki-kogyo.com>

本社
〒103-0004

千葉工場
〒289-1107

佐倉工場
〒285-0812

東京都中央区東日本橋 3-10-14 サンライズ橋 8F
☎03(3667)3041〔代〕 FAX03(3667)8268
E-mail:info@sanki-kogyo.com

千葉県八街市八街は 1-59
☎043(443)9711〔代〕 FAX043(443)9884
E-mail:chiba@sanki-kogyo.com

千葉県佐倉市六崎 560-3
☎043(481)2101〔代〕 FAX043(481)2102
E-mail:sakura@sanki-kogyo.com

会員会社訪問

長崎県漁連 東京直売所



平成24年11月13日の午後、当クラブの会員である長崎県漁連東京事業所の東京・築地にある東京直売所を訪問し、東京事業所の河田耕介所長に県漁連や長崎の魚などに関するお話を伺った。

東京直売所は平成18年10月に開設し、本年度6年目にあたる。現在、職員は3名で、営業時間は朝の6時から午後2時ごろまでである。

東京において、長崎のちゃんぽん、皿うどん、カステラのことは良く知られていても、長崎が日本有数の魚の産地であることは、知らない人が多い。そこで、長崎の魚に関する情報収集とPRを行い、水産物の販売の拡大を目指している。販売品目は産直ならではの品揃えを行い、お客様のニーズに答えている。

なお、魚の仕入れは市場を経由しないで長崎の各漁港から直接購入している。

客層において、一般の方とプロの方との比率は6…4である。プロのお客様に対しては、対面販売や場外市場内の来店、運送会社による配送により、商品を渡している。

長崎の魚の特長は、海岸線が北海道に次いで二番目に長く、恵まれた海流や地形により魚種は日本一豊富である。旬の魚が何であるか、一般

客にもプロにも説明する。希望によって、捌き処理を無料で行っている。食べ方の説明を行うなど、対面販売の利点を生かし、常連さんを増やしている。

通常の店頭販売の他に、長崎の案内、県内ホテルの料理長の紹介、サンプルの提供をしてお客の興味を引く努力も怠らない。

さらに県の東京事務所ともタイアップして毎日の魚の入荷状況をホームページ上でPRし、宣伝活動にも力を入れている。

今後、継続して固定客を増やしたい。長崎の魚のことをよく知ってもらうために、店を情報の発信基地として販売の拡大に寄与したい。東京の人にレンコ鯛、鯖、鰯など美味しいものを食べてもらいたい。ノルウェイ産の鯖は脂がのついているといわれるが、長崎の鯖は脂だけでは説明できない味がある。

【参考】鮮魚・冷凍品のほかに魚の加工品、海産物も販売している。平戸名物川内かまぼこ（スボ巻）は毎週月曜日に、かまぼこ（揚げかまぼこなど）は金曜日にそれぞれ入荷している。

（聞き手：宅島正二理事・平松勲理事、写真：宅島正二理事、文：内堀勝之理）

※河田耕介氏は平成24年12月に小川研一郎氏と所長を交代されました。

長崎県漁連
東京直売所

案内

【住所】 〒104-0045 東京都中央区築地4-16-2
電話：03-5550-8161 FAX: 03-5550-8171 URL: <http://www.jf-net.ne.jp/nsgyoren>
【営業日】 築地場外市場の営業日
【営業時間】 午前6時～午後2時

金型用部品・パンチ・ピン

株式会社 スガモ技研

代表取締役 福田邦昭（平戸市大川原町出身）

〒341-0012 埼玉県三郷市半田1028-4

電話 0489（57）4111（代）

FAX 0489（57）4123

営業
品
目

冷間鍛造パンチピン

モールド型用コアーピン

プレス型用パンチピン

プリント基板金型用パンチピン

その他

ESSAY ①

インドとチャンドラ・ボース

根岸 素行

私の父、忠素（明治39年生まれ）は大村中学校から上海の「東亜同文書院」に進み、英語のほか、漢詩や漢文に通じていたようです。昭和4年に三菱商事に入社し、最初の勤務地がインドのカルカタ（現コルカタ）でした。その後、上海勤務の折、第二次世界大戦が勃発しました。

昭和18年、インド独立運動のためドイツにいたチャンドラ・ボースが日本政府の要請で日本側に来ました。父はボースの連絡官（リエゾンオフィサー）に民間人から選ばれ、戦時中はボースと行動を



共にする運命をたどりました。ボースはUボートでドイツを出発し、インド洋で日本の潜水艦イ29号に乗り継いでスマトラ島北部のサバン島へ来ました。この時、父は山本大佐等と共に迎えて以来、ボースとは寝食とも行動を共にしてきました。最後は、日本がポツダム宣言を受諾した電文をボースに手渡したのが父でした。

父は、以上のような経緯を経て戦後の財閥解体の後、インドのカルカタに新たに支店を開設するに当り、再度、インド勤務となりました。

私たち家族も昭和29年からインドに行くことになりました。私は当時小学校二年生で、その後、五年生までインド暮らしが続きました。インドでは紅茶で有名なアッサム州の英国系の学校に通いました。その頃は、今日のような日本人学校も無く、英国人、インド人、中国人等国际色豊かな学校でした。私はそこでは唯一の日本人でした。

その間、多少のインド語（ヒンディ語）も覚えたため、現在では、日本在住のインド人をボースの遺骨を預かっている杉並区の蓮光



寺、杉並図書館内のガンジー像や靖国神社内の、東京裁判で日本の戦争責任無罰を主張したパール判事の像に案内したりしています。少しでも日印友好に役立てればと願っている次第です。

二百年以上も続いたイギリス植民地からのインド独立運動では、無抵抗運動に徹し、戦時中は連合国に与したガンジーやネルルの方が有名ですが、日本側に就いた武力闘争派のボースは、今でもインド人の中では根強い人気があります。また、インドは国としても大変親日的です。

長崎は梅屋庄吉や孫文と歴史的に繋がりががあります。他に、チャンドラ・ボースの前にもう一人のボースの、東京の新宿中村屋にカレーを教えたラス・ビハリー・ボースが大正15年に長崎市青年会館で第一回アジア民族会議が開催された折には演説しており、孫文も大アジア主義的協調を呼びかけています。

このように、「長崎もインドとは関係がある」といふと父が言っているようです。今後とも、更なる関係を期待します。

ESSAY ②

プロ野球の監督選びを考える

古川 英夫



この時期になるとプロ野球がキヤンプインを控えて話題に上ってくる。元野球少年の私は、もともと巨人ファンだが、巨人が負けでも以前のようにイライラしなくなった。どこが勝ったか負けたかよりも、各球団がどんな組織作りをしているのか、特に監督をどんな基準で選んでいるのか、そういうことに興味の対象が変わったからである。

よく「名選手必ずしも名監督ならず」と言われるが、選手に求められる能力と監督に求められる能力は根本的に異なるということである。

それにもかかわらず、日本の球界は生え抜きの名選手を監督にしたがる傾向がある。集客の目玉にするためだろう。それ自体が悪いとは言わないが、名選手であったことは必要条件にはならないと思う。

どんな名選手であろうと、コーチや助監督など、現場でリーダーとしての経験を積んだり、一旦ユニホームを脱いで評論家として外から野球を見るという経験をした方がいいと思う。日ハムの栗山監督は、選手としては大したことはなかった。しかし、ダルビッシュが去ったあと、代わりに無名の吉川をエースに育て上げ、1年目からリーグ優勝を果たしたのは賞賛に値する。長年の評論家活動で自分なりの野球観を持っていたのだから。

その点、アメリカではきちんと分けている。どんな名選手でも、指導者になるためにはマイナーリーグから経験し、実績を積んで大リーグから声がかかる。

あのベーブ・ルースは歴史に残る大選手だが、監督・コーチになったことがない。本人はやりたかったが、お呼びがかからなかったそうだ。私生活が乱れて自己管理ができないから、選手の管理なんてできないと見なされていたのである。自己管理できなくても選手としては実績を残したのかと不思議だが、その点が天才だということか。

トピックス

長崎北高第13回東京支部同窓会

長崎北高の第13回東京支部同窓会は平成24年12月1日(土)に銀座東武ホテルで開催されました。長崎からお二人の恩師(国語科、体育科)、校長先生、同窓会長にも参加していただき、総勢220名の盛大な同窓会となりました。(同窓生だけで200名超は新記録です。)

慣例となった「還暦」を迎えられた同窓生のお祝い、北高OB・OGによるコーラス部の歌の披露、プロの音楽家(同窓生)3名による「ミニコンサート」など芸術の秋にふさわしいイベントに「もつ

てこい」のアンコールもあり大いに盛り上がりました。

幹事の9回生(昭和31、32年生まれ)がほぼ一年前から月に一度のペースで準備会を重ね、イベントの企画、演出、案内状のデザイン、お揃いのエプロンの作成などを進めてきました。また、長崎をはじめ福岡、関西、中部からも応援団が続々と集まり、同窓会を大成功に導いたあとの二次会も時間の経つのを忘れ、お互いをねぎらい、再開を約束されたようです。

今後は卒業間もない同窓生にも参加していただけるように、校長



先生に一肌脱いでいただくこととなりましたので、来年以降の同窓会もますますパワーアップしていきます!

(長崎北高同窓会東京支部

事務局 武富和宏

盛大に創立95周年記念総会 東京雪州会に230人

東京雪州会の創立95周年記念総会及び懇親会(平成24年度)が10月28日、東京・芝の東京プリンスホテルで開かれ、雪州会から白川市長ら20人を始め来賓・会員総勢230人が出席し、大盛況でした。

今年は雪州会が1917年(大正6年)に発足してから95周年。雪州会のほか各地区雪州会会長、長崎県下の各地域会長、国会議員、長崎県人会、長崎県人クラブ幹部ら来賓及び一般会員が一堂に集い

記念総会を祝福。長崎県人クラブからは今泉弘人副理事長(長崎県人会幹事長)、藤島満年常務理事・事務局長、吉田牧男常務理事ら多数が出席。

95周年を機に東京雪州会は名称を『東京雪州会』に変更し、雪州会連の親睦団体であることを鮮明にしました。また雪州会が平成18年度から実施している雪州会緑化寄付(20万円)を今年も継続し、牧山会長から白川市長に目録を手渡しました。

今回は初参加の人や島外出身の人が多く出席したのも特徴。雪州の特産品など多くの景品で福引抽選会も大いに盛り上がったことでした。

(東京雪州会会長 牧山康敏)



イベント予告

名 称(代表者)	日 時	場 所	連絡先・電話
長崎さるく	通 年	長崎市内一円	長崎国際観光コンベンション協会 (長崎さるく受付 ☎095-811-0369)
2013長崎ランタンフェスティバル	H25.2.10(日)~2.24(日)	長崎市・湊公園ほか会場	長崎ランタンフェスティバル実行委員会 事務局(長崎市観光推進課 ☎095-829-1314)
2013年全日本綱引選手権大会	25.3.3(日) AM9:00	駒沢オリンピック公園総合運動場体育館 (最寄駅 東急田園都市線 駒沢大学駅下車徒歩15分)	
長崎産直うまか市	H25.3.9(土) AM9:00~PM1:00	四谷	長崎県東京事務所(☎03-5212-9176)
2013長崎帆船まつり	H25.4.25(木)~29(月)	長崎港 (長崎水辺の森公園周辺)	長崎帆船まつり実行委員会事務局 (長崎市観光推進課 ☎095-829-1314)
東京北星会(佐世保北) 新人会員歓迎会・懇親会 (芦刈伸子)	H25.5.18(土) PM3:30	ハイアット リージェンシーホテル	東京北星会事務局 堀口 (☎080-4612-6337)
佐世保工業高校関東支部同窓会 (八坂撃止)	H25.5.25(土)	プリンスホテル新宿	羽切久仁生(☎045-913-5641)
猶興館東京同窓会総会・懇親会 (岩崎勝也)	H25.6.8(土)	第一ホテル(新橋)	大石郁夫(☎03-3586-5211)
平戸高校東京・首都圏同窓会 (森和十郎)	H25.6.15(土)	日本出版クラブ会館	小檜山長代(☎045-512-8919)
佐世保南高校東京同窓会 第23回東京柏葉会総会・懇親会(浦松敏和)	H25.6.29(土)	椿山荘	友添博介(☎090-8048-7558)

第40回長崎東高在京同窓会

第40回長崎東高在京同窓会は、平成24年10月20日、ホテルグランドパレスで255名の同窓生の参加を得て行われました。

第40回としての記念イベントは、難問ばかりの「長崎検定と総会40回記念クイズ」で、テーブルのあちこちで頭を寄せての回答作成風景が見られました。

東風アンサンブルによるウエルカムコーラスに始まり、毎年好評の長崎グルメ、東龍倶楽部の龍踊りと、食事イベントも盛りだく

さんの総会となりました。長崎からは現役校長米倉先生を始め、招待恩師のお二方、長崎同窓会・福岡同窓会の幹部の皆さん、各高在京同窓会の幹部の方々、県人クラブの藤島常務理事さん他多数の来賓のご臨席を賜りました。当番幹事の29回生は、長崎・福岡・熊本・広島・愛知の同期生の応援をも得て、二回目の幹事を見事に務めてくれましたことに感謝しております。

最後に、この度の新龍制作にあたり、各方面の関係者の皆様から多大なるご厚誼を賜りました事に つきましては、この紙面をお借り致しまして厚く御礼申し上げます。(東龍倶楽部代表 栗原信敏)



(長崎東高在京同窓会会長 古川 彌)

新しい龍が誕生しました!

秋晴れの平成24年11月10日は東龍倶楽部として生涯忘れる事の出来ない記念日となりました。四谷の総鎮守であられます須賀神社にて、新龍の魂入れの儀式を執り行い、厳粛な祝詞奏上とお祓いを受けたあと、境内にて「龍踊り」を奉納致しました。

東龍倶楽部発足のきっかけは、8年前に高校OBの先輩が退職されるお祝いの余興として、長崎県東京事務所の龍をお借りし、見真似で演舞したのが始まりでしたが、年を重ねるにつれて各高校の在京同窓会、長崎県の物産展、

龍に絡んだイベント等から参加要請がかかるようになりました。借用していた龍体の経年劣化もあり、今年の初めに、それならばと、部員一同が新しい龍を作ろうと、決議致しました。

演舞においては、本場長崎の「おくんち」の龍踊りの足元にも及びませんが、練習に精進を重ねて、演技の技量を向上させて行き、今まで以上に長崎発展の一助になればとの思いで、活動してまいります。今後とも東龍倶楽部へのご支援・鞭撻を賜りたく宜しくお願い申し上げます。



平成24年度大高東京同窓会総会・懇親会の実施

大高東京同窓会は、平成24年10月20日(土)に、笹川記念会館において、第29回総会・懇親会を実施しました。

例年と同じように、基幹となる実行委員会を立ち上げ、4月から約6か月かけて準備してきました。昨年の反省を参考に、如何に魅力があり同窓生の関心を引くことができるものにする事ができるかをテーマに取り組んできましたが、一つの方策として、「東京同窓会の活動状況を会員に広く知らせることができたかどうか」との話し合いから、「会報誌」を作成することに決定しました。

迎え、約90名の参加を得て、和やかに楽しく実施できました。参加者は、例年に比べ、少ない状況でしたが、同窓会を立ち上げた方々の高齢化に伴う減少に加え、若い年代の同窓会への取り組みの不十分さはあるものの、中間層での初めての参加者も目立ち、まずは中間層からの深化を図ることも必要かと思われました。

引き続き、大高東京同窓会の活動に対して、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。(大高東京同窓会事務局 笠原勇三)

4月に決定し、原稿、広告依頼、編集等、関係者の協力と支援を得て、短期間でしたが大高東京同窓会会報誌「大高坂」を創刊することができました。創刊号は、内容的にやや堅苦しい傾向にはなりましたが、評判としては良い感触を得ました。既に、第2号の編集については、会報誌としての情報提供を備えた楽しくて読みやすいものにしようとの動きも始まっています。

さて、総会・懇親会は、大村等から同窓会関係者、学校長等を、また長崎県人クラブ、在京の県下高校同窓会関係者等を来賓として



笠原勇三

モンドセレクション 11年連続受賞蔵

“美しい味” 海を渡って届けます。



まつなが やすざえもん おう
松永安左エ門翁

720 ml (43度)



壺岐 オールド

720 ml (25度)



壺岐 スーパーゴールド22

720 ml (22度)

むぎ焼酎 壺岐

玄海酒造株式会社

本格麦焼酎

◎お酒は20歳になってから。◎お酒は適量を
◎妊娠中・授乳期の飲酒には気をつけましょう

取締役会長 山内 賢明

取締役社長 山内 昭人

取締役副社長 山内 博達

〒811-5125 長崎県壺崎市郷ノ浦町志原西触550-1 TEL.0920-47-0160 FAX.0920-47-0211

www.mugishochu-iki.com

壺岐麦焼酎

かめはだか 山の守

有限会社山の守酒造場



本格麦焼酎
1800 ml (25度)

◎お酒は20歳になってから。

取締役会長 山内 賢明

取締役社長 山内 昭人

取締役副社長 山内 博達

〒811-5125 長崎県壺崎市郷ノ浦町志原西触85 TEL.0920-47-0301 FAX.0920-47-0384

猶興館高校東京同窓会総会・懇親会開催

記録尽くめの総会・懇親会となりました。平成24年6月2日(土曜日)第一ホテル東京にて開催いたしました。昨年と異なり、局部的な災害は有りましたが、比較的平穏な本来の総会・懇親会が開催されました。昨年の非常時後の興奮状態から、本来の同窓会に戻ったとき、果たして去年の出席数を超えることができるのか、正直、自信が無かったのですが、蓋を開けてみますと、何と、252名の出席があり、これは当会60余年始まって以来の記録と成ったのです。これは一重に幹事・年幹事の日頃の弛まぬ活動・努力にほかならないと、彼等に感謝しています。

総会を覗いてみますと、緊張気味の上擦った会長挨拶から始まり、来賓祝辞・母校近況報告と成るのですが、ただ、異なることは校長先生の姿がなく、代行で報告を行ったことです。これも当会始まって以来のことでした。県の高総体のさなかで、母校の関係者が出席できず、代行で副会長大石による発表と成ったのです。

総会は議事に進み、昨年の活動報告、会計報告・監査および本年度の活動予定など、滞り無く進み、終了したのです。

「猶興の和・そして絆」をテーマに懇親会が始まります。スクリーンに動画3Dを模した、懇親会の入りは、我々老とるには理解できない斬新なものでした。母校から会場までをリアルタイムに聖火ランナーよろしく駆け参じ、司会者が入場するのです。ご理解して頂けたでしょうか。若者の柔らかな頭には感心するしかありません。

イベントもこれまで卒業生グループサウンズ(現在休止中)「六角橋」のメンバーが各地から馳せ参じ、故郷平戸の地名が歌われたホームソングを数多く披露してくれました。飛び入りで芸能活動をしている卒業生も壇上に上がり、華を添えてくれます。会場全体がアットホームなムードに包まれた2時間の時は終焉を迎えます。

佐世保南高等学校東京同窓会第22回東京柏葉会総会・懇親会

平成24年7月7日(土)第22回東京柏葉会が、今年も椿山荘にて開催されました。あいにくの悪天候のため関係者一同、一抹の不安を抱きましたが、参加者総数267名(会員248名、来賓・恩師19名)という、昨年を上回る皆様の参加をいただきました。

例年通り総会、講演会、懇親会の順番で進められました。今年の講演会では東北大学大学院教授(23回生)の今泉俊文さんに「大震災

に思うこと」をテーマに、震災時におけるご自身の体験を交えて、内陸地震を引き起こすと考えられる活断層についての説明、そして私たちにはどんな対策が考えられるのかをQ&A形式でお話していただきました。

懇親会には母校、各地の柏葉会並びに在京の他校同窓会等、多数のご来賓のご参加をいただきました。浦松会長、ご来賓の皆様のご挨拶、本日の講演会の演者である

今泉さんによる乾杯のご発声の後、NHK「おかあさんといっしょ」の第3代「うたの兄さん」たらいさおさん(23回生)のリードのもと、皆さんでそれぞれの思い出の曲を歌っていただき、会は大いに盛り上がりしました。恒例の福引では、日本マクドナルド株式会社、原田泳幸CEO(19回生)によるプレゼントに、ひととき大きな歓声が興りました。

最後に、大串副会長(21回生)による閉会の挨拶を以って、第22回東京柏葉会はお開きとなりました。

最後に、大串副会長(21回生)による閉会の挨拶を以って、第22回東京柏葉会はお開きとなりました。

(東京柏葉会 幹事長 友添博介)



厳肅な来年の年幹事への引継ぎ式、女学校・中学校・高校と三つの校歌を賛歌し、後期高齢者大先輩の音頭で万歳三唱と24年度総会・懇親会は無事終了いたしました。(会長 岩崎勝也)



平成24年度長崎県人会総会



12月11日(火)東京プリンスホテルにおいて、平成24年度長崎県人会総会が開催され、多くの方にお集まりいただきました。

相川県人会会長の挨拶に続き、中村法道長崎県知事から、和牛のオリンピックといわれる全国和牛共進会で内閣総理大臣賞をいただき、肉牛の日本一に輝いたこと、Vファアレン長崎が悲願であったJ2昇格を果たしたこと、「長崎の教会群」が平成27年の世界登録を目標に詰めの作業を進めていることなどの取り組みについて説明がありました。

懇親会では、東龍倶楽部の皆さんによる龍踊りが披露され、新調された「龍」の初お披露目とあり大いに盛り上がりしました。

トピックス

東京対馬高等学校同窓会

東京対馬高等学校同窓会(高松繁治会長)では、平成24年9月23日、東京丸の内トラストタワー店で、定例総会および懇親会を開催した。参加者は来賓3名を含み74名でした。

総会は長副会長の司会で進められた。この1年間の物故者への1分間黙祷を捧げたのち高松会長は「本会は明治期後半の創成と聞いている。自分は8代目の会長となる。先輩の築いた歴史を一層進展させていく決意です」と挨拶された。

次いで議案の審議に入り、役員

改選、会則変更、会計収支報告、

監査報告を満場一致で承認可決した。新役員体制は、会長高松繁治氏(重任)、監事として柚原治美氏(重任)、長郷勉氏(新任)をはじめ、顧問4名、幹事15名となる。

会則の変更により、今後の総会運営を一層円滑にするため、会員会費制(年間1千円)採用などを決定した。母校のクラブ活動助成金30万円の寄贈も継続して行われた。来賓として安部成年校長より、「今春の国公立大学のへの進学率は県下一の成績であったこと。また課外活動においても、活発に展

開している。東京同窓会の熱い支援をありがたく受け止めている」との挨拶があった。浦田一朗同窓

会会長は、対馬商工会議所会頭兼務の立場を踏まえ、「福岡く対馬間の交通整備や料金の見直し要請などインフラの整備と観光に力を入れ、効果をあげつつある。それにしても、継続する人口減が悩ましい」と報告された。

懇親会は、早田和男副幹事長の司会。村上一朗福岡同窓会会長より「最近日本人らしさが意識されている。震災対応で見せた倫理観と互助の精神だが、これはまさに対馬人らしさでもある。大いに対馬人らしさを発揮しよう」と力強く乾杯の発声で始まった。

辺雄一郎さんの歌および演奏なども披露され、大変盛り上がりました。(平戸市長 黒田成彦)

東京・平戸北松会開催

平戸市長に就任して3年目によくやく初めて東京・平戸北松会に出席することができ大変嬉しく、また皆様と楽しい時間を共有できたことに松浦市の友広郁洋市長とともに感激しております。

ご参加された多くの皆様には、故郷の様々な観光・物産戦略についてご理解を深めていただきまして、映画「あなたへ」の誘客効果についても確認いただき、今後の地域振興に対するご協力を願ったところであります。

また思いがけなく、私まで歌を披露する機会を得まして、平戸市のソプラノ歌手・松口ようこ先生とのデュエットで、ご自身が作曲された『おいりやつせんか』というアゴ売りと買い手による方言丸出しの掛け合いを題材にした歌を熱唱させていただきました(尚、この歌詞は当日ご出席の土肥眞也さんの作品です)。

懇親会は終始、賑わいと笑いに包まれ、同郷出身の尾崎勇記(元隆乃若閣)さんやギタリストの真



また、福引き抽選会には、県県議会及び各市町をはじめ、各地区県人会、長崎県ゆかりの企業などから数多くの景品や諫早湾干拓地で収穫された人参で作ったジュースをご提供いただき、大変にぎやかな会となりました。

(長崎県東京事務所 馬場久司)

会場はやや手狭ではあるものの、卒業年次ごとのテーブル配置の工夫もあり、各所で賑やかな交流となった。話の中心は、在学中の思い出話であり、近い年次では共通する恩師の再評価であり、年代を超えると、卒業以来の行動や苦勞の披露などであった。

途中で、年配の会員より「寮歌」の合唱があった。この歌詞は対馬の風景を見事に唄いあげているとの賞賛の声があり、「校歌」についても、まさに進取の気性そのものであり、卒業してから一層この校歌を誇りに思うとの声が多かった。最後は、井田実副会長より「各位の協力で楽しく交流できたことに感謝する。来年はもう少し広めの会場を用意するので、是非誘い合って参加ください」を謝意を述べた。

今回は、事務局(松井強幹事長、有村啓子・早田和男副幹事長)の

途中、案内葉書には、同一学年の会員名を印刷(名前だけ)し、同期の絆を深めて頂く一助とした。この結果、特に40代、50代の参加者が増え、若い世代の新しい幹事候補も数名内定するなどの成果となった。

読売新聞、毎日新聞、産経新聞の夕刊に「同窓会案内広告(無料)」を掲載できたことも初めての企画であり、今後につながる行動となる。

(東京対馬高校同窓会幹事

内野武夫)

長崎工業高校関東支部同窓会総会

平成24年11月3日、第33回長工関東支部同窓会が開催されました。今年は電子工学科と情報技術科が担当幹事科となり、会場はスクワール麹町で開催されました。

当日は晴天に恵まれ、本部からは山田親会長、関西支部から平松繁事務局長、母校から長池紀英副校長をはじめ、多数のご来賓・同窓生の参加を得、79名が集い、総会、懇親会と有志参加の二次会と楽しいひと時を過ごしました。

今年の総会には、恩師北川友也先生のご尽力で今年インテリア科卒業の野中さん、中ノ瀬さん、森

永さんの女性初参会もあり華やかさを運んでくれました。又、竹下幹事による母校・長崎のスライドも披露され、映像に懐かしむ参加者も見受けられました

総会では、松尾剛会長からは意気込みを感じるご挨拶をいただき、本部 山田親会長から、会の盛会と更なる飛躍を期待される旨のご挨拶を受け、参会者の気持ちも引き締められました。

懇親会に移り、母校・長池紀英副校長からは在校生の活躍が紹介され、関西支部平松繁事務局長からは、関西支部共々、会の成功と

更なる飛躍に向け共に邁進する意気込みを感じるご挨拶をいただきました。

イベントでは、春山真紀子さんによるフラメンコショー、華やかでもありエキゾチックな踊りが披露され、生演奏のギターをバックに、当会会員も魅了させられ、異空間に引き込まれたひと時を過ごす事が出来ました。

年に一度のこの総会に集い、美味しいお酒を酌み交わしながら語り合い、普段の生活から少しだけ離れた、和やかな空間がそこにありました。

会も終わりに近づき、来年の担当科である電気科を代表して木戸紀雄副会長から元氣あふれる手締

平成24年長崎ビードロ会総会開催

オリンピック年の今年は、四年に一回の総会開催の年に当たり、平成24年10月12日(金)午後6時30分より、港区三田の笹川記念会館の鳳凰の間で開催されました。

藤島満年ビードロ会会長の挨拶に始まり、御多忙にもかかわらず田上富久長崎市長に御出席をいただき、祝辞を賜りました。また、多摩川六郷土手での鳳揚げ開催に際して、日頃より多大なご支援をいただいています大田区六郷特別出張所の白根睦正所長、六郷地区

自治会の中島寿美会長のお二方にも御臨席をいただきました。長崎市と大田区の絆がより一層堅く結ばれるものと思ひ厚く御礼申し上げます。さらに、長崎市東京事務所の皆さんの献身的活動のおかげで今日に至っています。

会の中島寿美会長のお祝いの言葉をいただき、引き続き、乾杯の音頭で、和やかなうちに宴の開始となりしばし歓談となりました。

国会議員の皆さんをはじめ、長崎県内各市の在京会役員の方々、

長崎市内の高等学校OB等、総勢130余名の出席者を数え、歓談と料理に時が流れ、宴もたけなわのうち、今総会の出し物の東龍俱樂部による龍踊りで場内は熱気と歓声が充満しました。

度重なる『もってこい』の声にこえて、龍が舞うことと二十数分、これまで見たことがない大熱演でした。

興奮の余韻も冷めやらぬうちに、本会の閉会のときを迎え、満足感に



めを、閉会の挨拶を、今年の担当幹事電子工学科、浜田光二幹事にお願いをし、今年以上に盛り上げていくことへの期待と、お願いを以ってお開きとなりました。

最後に皆様と又、来年もこの会でお会い出来ることを楽しみにしています。(広報 永田昌利)

浸りながら、この時間を惜しみつつ来年の鳳揚げの成功を誓って無事閉会を迎えました。

(ビードロ会副会長 下田浩六)

長崎南高校 関東同窓会



平成24年7月14日(土)14時より、六本木一丁目の住友会館で、第22回総会を開催しました。参加人数は、やや少なくなつて約130名でした。それに今年、5年ぶりに東龍会の皆さんにも出演いただいたので、その約30名も加わって、合計、約160名の熱気に包まれました。

今年、卒業30周年を迎えた第19回生が幹事会を作つて、準備かれこれに尽力をいただいて、無事に開催にたどり着いた次第です。恒例の総会の内容と母校からのご来賓の挨拶かれこれと、豪華食事と歓談が進むなかで、やはりアトラクションに参加していただいた、東龍会の龍踊りは圧巻でしたね。長崎人のDNAに火を点けるようですね。皆さん釘付けになつてい

トピックス

第39回東京佐世保会

「ふるさと佐世保の夕べ」開催

第39回東京佐世保会総会（ふるさと佐世保の夕べ）は、平成24年11月22日（木）午後6時30分から、例年と同様に西新宿のハイアットリージェンシー東京で、盛大に開催されました。

参加者、約280名となった会では、加藤沙智子さん（佐世保西高校）の司会で始まり、永田傳治幹事長の開会挨拶・山口祐二監事の監査報告・小野寿之会長挨拶・朝長則男佐世保市長挨拶の後、国会議員秘書紹介があり、来賓・企業招待者紹介の後、代表して永山

正幸佐世保市議会議長の挨拶がありました。

市長から全員への佐世保PRバツジ（徽章）の進呈、長崎牛の全国制覇の話題、東京佐世保会のおすめの店「東京食べ歩きマップ」パンフレット（佐世保から上京した人達や首都圏に在住の人達が安心して通えるお店の紹介22軒）の作成及び配布の話題等の内容でした。

飯田満治佐世保観光コンベンション協合理事長の乾杯で懇親会が始まりました。

第61回東京海星会総会・懇親会盛會裡に終了

海星学園の在京同窓会総会は11月9日、午後6時30分から笹川記念会館（東京都港区三田）で行われました。

に舌鼓を打っていました。そして特別ゲストで長崎出身の女性シンガソングライターHanaさんの美しい歌声を楽しみました。

同会には長崎の海星学園から山崎理事長、清水校長、同窓会担当濱崎先生、長崎同窓会と関西同窓会の役員、そして在京の長崎市・諸団体・各高校の同窓会役員など17名を含め108名が出席されました。

今春上京した学生が紹介されました。また今年から長寿会員が表彰されることになりました。

恒例の大抽選会と長崎検定クイズを実施し、今年の特賞は会員から提供された30万円相当のネックレスで会場は盛り上がりしました。

今年も海星らしいアットホームな総会で終了することができました。

総会の後、懇親会に移り、皿うどんや蒲鉾など長崎の料理も用意され、参加者は懐かしい長崎の味

た。

佐世保市から焼酎・日本酒、玄

海酒造・大島酒造様から焼酎を提供戴き食事・飲み物・歓談を楽しみました。この後、佐世保ふるさと大使委嘱状交付式が観光コンベンション協会の進行で開催され、朝長市長から大使を代表して小野会長に委嘱状が手渡されました。今回、関東青雲会同窓会として始めて参加戴いた藤田茂会長から青雲同窓生の初瀬勇輔さん（北京パラリンピックで柔道金メダル）、笠井友貴さん（東京大学大学院・将棋解説聞き手役）の紹介がありました。

イベントは、佐世保商業高校出身で今年、佐世保本部で商業高校

最後になりましたがご出席の皆様

様に心から御礼申し上げます。

（東京海星会事務局 江頭康伸）



たようです。長崎人を、ひとつにする大きな要素かもですね。東龍会の皆さん、ありがとうございました。

社会情勢の環境の変化によるのか？ 新入会員が極端に減る傾向があり、現状の会員で、そのまま継続できる同窓会を思案しながら、今後も楽しく発展して行きたいと思えます。（事務局 前田幸司）

同窓会会長に就任された幸地愛子さんで、ふるさと佐世保の歌を会場の皆様と一体となつて一緒に楽しい一時を過ごしました。そのあと、恒例の佐世保観光大使の諸岡

なほ子さんと野見山里美さんによる佐世保の方言入りの歌の披露も行われました。

次に恒例の福引き抽選ですが、今年も佐世保市内の自治体や佐世保ゆかりの方々から数多くの景品提供があり、二人に一人の確率で当選されました。会長賞と市長賞・市議会議長賞は、その場で抽選し直接手渡ししました。その他の賞品は例年通り、事前に抽選しホワイトボードに掲示しました。最後に吉澤均副会長より閉会のご挨拶がありお開きとなりました。

帰りには、全員にお土産を渡しましたが、今年は、「九十九島せんべい」「ぼろ」と「させば日和」「いりこ佃煮」「西海漬」「護衛艦ビ

ーフカレー」「日本マクドナルド無料コーヒー券」「チョココー醬油」「キリン耐ハイ」等のお土産の詰め合わせでした。

会場人口には佐世保の物産店の玉木屋・川上文旦堂・四季彩館が、てんぶら・あご・ぎぼん漬け・かんころ餅等の佐世保の名産品を販売し、大変好評でした。会場内では、スクリーンに佐世保市が制作した多胡光純（たごてるよし）さんによる「多胡光純、西海国立公園九十九島を飛ぶ」のDVDを画面に流し物産販売店と並んでDVDを観光コンベンション協会の担当者が販売しました。佐世保の近況の映像を収めた魅力いっぱい素晴らしい作品で好評発売されました。

皆様の多大なご協力に感謝しますとともに、来年もより多くの皆様にお集まり戴きたいと願っております。有り難うございました。（長崎県人クラブ会員 今村勝義）

松浦高校同窓会 関東支部総会・懇親会

平成24年11月4日(日)に四ッ谷のスクワール麹町で同窓会・懇親会を開催しました。

母校・同窓会本部・近隣高校同窓会からもご来賓を仰ぎ、総勢22名(会員の1割)でなつかしさのうちに楽しい時間を過ごしました。母校の話題は生徒数の減少と2日後に行われる駅伝優勝への期待でした(見事、優勝を果たしました)。

懇親会では、久しぶりに参加したメンバーに近況報告をいただき、欠席の方からのメッセージも披露するなど、なごやかな雰囲気の中で会員同士の交流を図りました。55歳から67歳まで、年代は違つて

も松浦高校・松浦をキーとした絆を深めることができ、ぜひ来年も元気で会おうと誓い合つて散会しました。追記としてトピックスを2つご報告します。

(1)講演「元寇船の発見と今後」について

このニュースの現場は松浦市鷹島町沖の海底でした。9月の松高文化祭には発見者の琉球大学池田教授にご講演をいただきました。松高生の心に、ふるさとは貴重な史跡があり、その文化財を守り伝えようという自覚が生まれました。(2)松高、駅伝県大会を制し、「都大路」へ同窓会の2日後に行われた高校駅伝県大会で、男子は松高

長崎西高在京同窓会

長崎西高在京同窓会は、平成24年10月27日品川駅前の旧ホテルパシフィック東京(現SHINAGAWAGOOS)にて開催されました。当日は晴天に恵まれ、長崎から校長はじめ複数の恩師、長崎・福岡・関西・東海の各地区同窓会々長が参加されました。また長崎県人クラブをはじめ長崎県内高校の在京同窓会役員など多数の来賓がお見えになりました。

会場には、長崎から来られた90

歳の恩師から本年卒業したばかりの若人(64回生)までが一同に会し、熱のこもった同窓会になりました。

昨年までは、来賓と卒業10回生までが着席し、他は立食の形式を採っていましたが、皆さんにゆっくりお話いただこうとの趣旨から、総勢320名強が全員着席の形式を試み、あたかも有名人の結婚披露宴を髣髴とさせる景観でした。

(長崎西高在京同窓会顧問

男澤浩一)



が1区から7区までの全区間賞を獲得し、初Vを成し遂げました。このニュースは現地から関東地区の同窓生にも瞬く間に拡がり、みんな喜び合いました。気の早い人は12月23日の京都市行きを手帳に書き込んだとか。

(松浦高校同窓会関東支部会長

白石栄治)





(写真・宅島正二県人クラブ理事)

長崎県産米「にこまる」は、財団法人日本穀物検定協会が実施するお米の全国食味ランキングで、平成20年から4年連続で、最も高い「特A」の評価を受けています。これは、新潟県魚沼産の「コシヒカリ」と同等の評価です。また、大村城南高校が栽培した「にこまる」は、全国農業高校お米甲子園で2年連続金賞を受賞しています。

「にこまる」は、平成16年度に長崎県の奨励品種として採用され、平成18年から一般作付けが開

始されています。 「にこまる」導入の背景については、長崎県の水稲の作付が、主力品種「ヒノヒカリ」に偏ったことと、気象災害時の危険分散、収穫時期の集中回避、共同乾燥施設の運営改善、また近年問題となっている高温登熟障害による「ヒノヒカリ」の品質低下等がありました。 このような問題を解決するため、「ヒノヒカリ」と熟期の異なる良質、良食味、多収の高温耐性品種である、「にこまる」を導入



しました。

「にこまる」の生産現場では、栽培技術マニュアルの作成、売れる米とするため、実需者との試食会、意見交換会でのニーズをもとに、産地化コンセプトを決定し、集落座談会、講習会で生産者へ周知徹底するなど、普及と産地育成に取り組んできました。

「にこまる」の作付面積は徐々に伸びており、平成23年産は2024 haまで拡大しています。 「にこまる」が4年連続で「特A」の評価を受けているのは、生産者、農業団体、流通、試験研究、行政機関等、関係者の熱意ある取組の成果であると思います。

今後も「にこまる」の面積拡大、品質向上等、ブランド力強化に取り組んでいきます。良食味米として評価の高い、笑みがこぼれるおいしいさの長崎県産「にこまる」を是非、賞味下さい。

(長崎県農林部 農産園芸課
農産班 主任技師 白井隆之)

超音波洗浄器

アイワ医科工業株式会社

代表取締役 本田武利 (諫早市高来町出身)

〒113-0033 東京都文京区本郷3-25-4
電話：03-3814-2291(代)
FAX：03-3814-2197

- * 超音波洗浄器製造一筋40年。
- * 医科・歯科・理化・工業・宝飾等多方面の業界において活躍。
- * 硝子器具・手術器具・機械部品等あらゆる分野の精密洗浄に最適。
- * 全80機種の標準製品を在庫。



McCafé®

| CAFÉ LATTE ⑤ ¥190 | CAPPUCCINO ⑤ ¥190 | CAFÉ MOCHA ⑤ ¥250 |
| CARAMEL LATTE ⑤ ¥250 | PREMIUM ROAST COFFEE ⑤ ¥100 |

※販売店舗はお客サービス室・弊社ホームページでご確認いただけます。【お客サービス室】0120(010)916【受付時間 9:00-17:00】【ホームページ】<http://www.mcdonalds.co.jp/>


i'm lovin' it®